

雷の子

カトリック町田教会
町田市中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



天におられる わたしの父の
み旨を行う人こそ、わたしの
兄弟、姉妹、母である
マタイ12・50

Postman

主任司祭 林 正人

誕生日に、この原稿を書いています。

今日は朝から、幾つかの祝いのメールや到来物があり、その中には、以前働いていた教会の青年たちからの便りもありました。「ああ、まだ忘れられていないんだな」と嬉しく思いました。特に、コロナ禍で直接会うことが難しい昨今、短くとも心のこもったメッセージは、正に「空谷足音」と言つたところでしょうか（訪問者

がいない、というわけではありませんが）。ところで、皆様ご承知の通り、神の福音は英語では Gospel、その意味するところは Good news、「良い便り」です。福音が「便り」ならば、それを伝える福音宣教師は Postman「郵便屋さん」です。これがキリスト教の（他の宗教もそうかも知れませんが）独特なところで、Good news は単に人の目に触れた

としても、それだけでは記された文字に過ぎません。それを「自分に宛てられた便り」として受け取るためには、郵便屋さんの配達が必要なのです。

かのビートルズもカバーした『Please Mister Postman』という曲があります。メールもツイッターも無かった、古き良き時代の名曲です。

Mister Postman look and see
Is there a letter in your bag
for me
(郵便屋さん、調べておくれよ)

バッグの中に、僕宛ての手紙がないか)
So many days you've passed
me by
See the tears standing in my
eyes

(何日も何日も、素通りして行つたよね
見てよ、今にも涙がこぼれそう)

この歌詞の主人公の男子は、手紙を書かない彼女にではなく、届けてくれない郵便屋さんに恨み言を並べるのです。郵便屋さんからすればいいトバッチリ……しかし、本当にそうでしょうか？ 便りは、預けられているのです。間違いない！ この男の子のような傷心の人々に。後は、郵便屋さんがそれを届けるか

どうかです。それぞれが身に付けた方法によって。

新型コロナウイルスによってあらゆる行動が制限されていた時期、教会の「郵便配達」も、その方法が極端に限られてしまいました。何より、今までの私たちの配達の基本であった、「出掛けて行き、相見え、手渡す」という作業ができませんでした。さらに、配達員たる皆様自身が、自分宛ての便りを自宅で待ち続ける日々であったことでしょう。配達員の長として、申し訳なく思っております。ただ教会も、少

皆様、こんにちは。今年、初めて運営委員になりました。辻と申します。はじめましての方が、たくさんいらっしゃると思います。コロナ禍の中で、なかなか直接お会いしてご挨拶できておりませんが、よろしくお願い致します。私は、福岡県久留米市出身で、町田教会在籍は、実は約25年程になります。

さて、公開ミサ中止の指示が出て以降、約3ヵ月半ぶりとなる6月20日に公開ミサが再開され、さらに、9月19日から、ようやく年齢制限が解除されました。75歳以上の皆様には、長期間、ご自宅でお

これからも皆様と一緒に

運営委員 辻 成己

しずつ、少しずつ、また歩み始めています。勿論、コロナリスクが減少している訳ではありませんので、感染防止対策は不可欠ですが、自分にできる、また自分にしかできない方法で、アナログ・デジタル織り交ぜて、「良い便り」の配達に歩み出しましょう。私たちは「良い便り」の配達員、Postmanです。

See the tears standing in my eyes
涙が地に落ちる前に、私たちが便りを届けることができますように。

祈り頂き、感謝申し上げます。ただ、残念ながら、地域ブロック単位で4分割したミサの仕方は、継続されたままです。

前号に引き続き、私達、運営委員が、ミサ再開に向けて、どのように取り組んできたのか、部分的ではありますが紹介させていただきます。

まず始めに、感染予防策を施すには、ご聖堂の収容人数を60名に抑える必要があります。様々な実施案を検討した結果、地域ブロック単位で4分割したミサの仕方を採用しました。それでも教会を訪れる方が、収容人数を超えな

いか、毎回気がかりでした。この制限付きミサの仕方、地域ブロック連絡員のご尽力により周知して頂き、さらに皆様から多くの方に伝達して頂きました。そのおかげで、感染予防策を保ってミサに参加して頂いたことを、改めて皆様に感謝致します。

次に、今迄とは違う制限付きミサの仕方に、皆様が無理なく頂いて頂き、運営委員全員で対応する必要がありました。ミサ後に毎回集まり、運営や消毒の仕方の見直しについて検討し、改善を図りました。また、ミサ再開時、消毒用アルコールが入り難い状況でした。最近、備品確保ができたため、コロナ禍の状況が長期化しても、無理なく運営できるように、運営委員のみでおこなっていた消毒を、ミサに与られた皆様の手で実施して頂く方式に変更しました。さらに、運営体制拡充のため、多くの方にご支援頂けることになり、とても感謝致します。今後も、信徒の皆様と一緒に運営していきまします。引き続き、宜しくお願い致します。より多くの皆様と、笑顔でお会いできることを楽しみにしております。



過ぎ去るものの中で

東京教区神学生 富田 聡



七月二十四日から九月十三日までの約一か月半、町田教会に滞在させて頂いたとき、本当にありがとうございました。二十二歳で具体的に司祭職を志してからこれまでのほとんどが修道会での生活だった私にとつて、今回の町田教会の経験は非常に新鮮で、恵み豊かなものでした。ほとんどの活動ができないこのような状況にありながらも、皆様の積極的で自発的な姿勢と林神父様の謙虚で対話的なあり方に、これからの教会の一つの理想的な姿を見させていただいた気が致します。

皆様にとつては、この度の活動制限は非常に大きな痛みであることだろうと思います。どれほど多くの人々が、早く感染が収束し、元の生活に戻ることを日々神に願っていることでしょうか。もちろん、そうなればそうなるに越したことはありません。しかし、このウイルスの脅威が過ぎ去るまで持ちこたえるだけで、本当にいいのでしょうか。

祭典 年礼暦年

今の信者はあまり教会の暦について教えられておらず、ただクリスマスとイースターが冬と春にある、と思っている。

しかし教会は年間の教えである典礼を通して、みんなの信仰をはぐくみ、信者としての年輪を重ねよう

「典礼暦年」を定めている。

コロナ禍で不自由な信仰生活を余儀なくされている今、あらためて教会の1年を心に刻みましょう。

★企画:山口良樹★絵:池永廣美

- 待降節)紫... 主の降誕4つ前の主日より、主の降誕まで
- 降誕節)白(黄)... 主の降誕より、主の洗礼まで
- 四旬節前)緑... 主の洗礼より、灰の水曜日まで
- 四旬節)紫... 灰の水曜日より、御復活まで
- 復活節)白(黄)... 御復活より、聖霊降臨まで
- 復活節後)緑... 聖霊降臨より、王であるキリストの週まで

教会の一年の暦は「イエスキリストの生涯」にもつづき典礼暦年をさだめています。その年度は「待降節」第一週より始まり、年間最後の主日である「王であるキリストの週」までとなっています。

山口氏に連絡すればラミネート加工したA4のカラー版が見られます。

教会の1年の暦を司る「時の大天使」

王であるキリスト

無原罪の聖マリア(12/8)

主の降誕(12/25)

主の公現

主の洗礼

主の奉獻(1/22)

主の降誕4つ前の主日より、主の降誕まで

●待降節)紫...

●降誕節)白(黄)...

●四旬節前)緑...

●四旬節)紫...

●復活節)白(黄)...

●復活節後)緑...

教会の一年の暦は「イエスキリストの生涯」にもつづき典礼暦年をさだめています。その年度は「待降節」第一週より始まり、年間最後の主日である「王であるキリストの週」までとなっています。

山口氏に連絡すればラミネート加工したA4のカラー版が見られます。

私には、神様がこの事態を通して私たちに語りかけておられることにもっと注意深くあらねばならないような気が致します。

福音、それは決して過ぎ去ることのない良き知らせ、神の救いの訪れです。イエスが今も生きて私たちと共にいてくださること、それはこんなウイルスごときでひっくり返されることのない、絶対的な救いであり、教会は常に希望のしるしとなるものです。今は、まさしく私たちの中に宿る、この過ぎ去らないものが顕わになる時ではないでしょうか。あらゆる活動や集まりが制約される中で、それでも

特集 できることから

いつもと同じように

ＣＩＣ音訳サービス 林 佳香

私達ＣＩＣ音訳サービスは、麹町教会と分担し、全国の視覚障害のリスナーさんにカトリック新聞を音訳・録音してお届けしています。町田教会の故妹尾くらさんが最初のリスナーさんで、1986年に始まった活動です。

毎週木曜夕方届く新聞を、大部分を自宅で録音、教会で月曜日から夕方まで7人で作業し、郵送してました。

尚残るもの、それこそが神から頂いた宝、私たちが本当に大切に育て、人々に伝えてゆかなければならないものです。逆に言えば、それ以外のものは全て過ぎ去ってしまうものです。

今、私たちには信仰者としての自覚が問われています。いったい私にとつて救いとは、福音とは、イエスとは、何なのでしようか。一人一人が、この状況の中で証しすることのできる福音を紡いでゆくならば、やがてはこの困難こそが、明日の教会の土台になってゆくことでしょう。どうぞこれからも共に歩んで参りましょう。

ところが、さあ、困った！コロナで教会に入れない！教会の倉庫に、備品も機材も全て置いてあります。新聞は、チャンチャンと発行されま

す！急遽メンバー全員が自宅で録音、佐藤千代子さん宅が「さとう工房」と化し、おひとりですべてのデータを編集、1枚ずつCD作成、検聴、点字シールを貼り、封筒に「盲人用郵便」のスタンプを押し、投函。「コウレイシヤはお家で祈り」「安息日」どころ

か、ご飯も後回しの大変な作業だったことと思います。

30年以上先輩方が一号も欠けることなくお届けしてきたカトリック新聞音訳版！コロナ禍で、「いつも」が様変わりしてしまっている今こそ、

「いつもと同じように」届けたい！その一心の半年でした。この間、新聞は9号、「雷の子」2号をお届けしました。

コロナ禍でも「雷の子」で私達信徒が繋がっていたように、私達が神様のメッセージをリスナーさんに届け続けられたことは、ありきたりなことですが、「良かった」のひとつことに尽きます。振り返

ると、心と力を合わせての半年は大きなお恵み！そして、心配し、応援して下さいった皆様、心から感謝しております。

コロナ禍とボーイスカウト活動

富田 充裕

町田教会の中で活動しているボーイスカウト、町田第1団の富田です。町田第1町田教会を母体とし、約60年前に作られた、町田で一番歴史のある団です。私は自分の子供が入隊したことをきっかけに、ボーイスカウト（幼稚園〜小2）とカブスカウト（小2〜小5）のリーダーを20年近く続けてきました。公園や野山を活用した体験

をさせるための準備は苦勞も多いですが、スカウトたちの笑顔、さらに10数年間に渡ってスカウトたちの成長する姿を見ることは何ものにも代えがたい喜びです。

しかしながら、今春からコロナ禍の影響で、スカウト活動は春から6月まで自粛となりました。7月からは「密」を避けられる野外活動を少しずつ再開しましたが、従来の状態に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。この状況の中で、9月13日に久しぶりにボーイスカウト全隊で地曳網（湘南二宮町の浜辺）に行ってきましたので、その活動を紹介いたします。

特別寄稿

新しい共同体的つながりの模索

名古屋教区司祭 片岡 義博

皆さん、はじめまして。わたしは、北陸・富山県内の4つの小教区を司牧しております。このコロナ禍で、富山県内も春先から教会に集まったの典礼・集会等が出来ない日々が続きました。

そんな中、富山でも信徒の皆さんの霊的つながりの一助になるように、試行錯誤しながら、共働司牧する司祭たちとともに、YouTubeを利用しつつの平日ミサをLIV

E配信したり、個人的に子どもたちのための『オンライン教会学校』という10分程度の動画配信を毎週おこなってきました。こうした取り組みを通して、ソーシャル

メディアの活用が、アフターコロナの教会共同体を支える大切なアイテムになる可能性を感じています。なぜなら、富山のような地方の小教区では、公共交通機関も十分ではなく、高齢者が日曜日に教会に足を運ぶことすら困難が増し、また子どもたちに対しても、信仰養成に関わってくださる方の確保も大きな課題があるからです。

いま社会の大きな変化の中にあっても、信仰を育んでいこうとする方々を思いをひとつに、これからも情報共有をしながら、新たな福音宣教の形を地方から発信できたらと考えています。

当日は前日までの雨が上がり、風も少ない絶好の地曳網日和でした。子どもから大人まで、頑張つて網を曳いた結果、たくさんのコノシロやカマスが獲れました。地元魚料理店の方を講師にお呼びし、魚のさばき方教室を開催、初体験のスカウトはキャーキャー言いながら、最後には3枚おろしができるようになりました。さばいた魚を炭火焼で美味しくいただいた後は、砂浜に埋めたお宝（キャンデー）を必死に探しまわっていました。スカウトは久しぶりの野外活動を十分に満喫してくれたことと思います。



聖堂に花を活けて

乙戸 紀代

今年コロナ禍に始まり、コロナ禍で終わりそうです。典礼の花は典礼委員会の一翼を担い、13名で毎週交替で活けています。師範の人がいるので、経験のない方でも大丈夫です。3月に枝の手入れをしますし、クリスマス準備としてアドベントリース、クリスマスツリーを全員で飾っています。クリスマスツリーは、外国人の信者さんが買い揃えたものです。のぞいてみて下さい。

奇数月の第4木曜日に例会をし、神父様に講座をお願いしています。最近では神学校のこと、管区の司祭と修道会の違い、灰の水曜日、パン、ブドウ酒、花などのシンボルについてです。

活けた花を絵に描く人もいますし、写真に撮ってヤコブ祭の時に「花の歳時記」と題して販売している人もいます。最近収められている写真では、クリスマス各所の飾り付け、復活祭の花はもちろんのこと、祭日の花、季節の花などです。

図書にもありますが「花と典礼―祭儀における生け花」を2013年に購入して参考にしていきます。フランスの教会で編纂された本で、色彩、

数字、形についてそれぞれの表す意味が書かれています。活け方の例についても祭日を中心に示されています。聖書の草木が書かれています。対外的活動としては、ある団体にクリスマスリース作りに行ったこともあります。コロナ禍でさまざまな制約はありますが、これからも皆様にご協力をお願いします。

「雷の子」郵送ご希望の方は編集部までご連絡下さい。

中原毅志

nakoffice@sky.plala.or.jp

信者動静

2020年2月～9月

(個人情報のため、削除しています)